

# わたしたち 府職労に加入しました

大阪府と府立病院には今年もたくさんの新規採用職員が採用されました。みなさん、これからの人生を充実させ、府民のために良い仕事がしたいとそれぞれの

職場でがんばっています。そして「そのためにも労働組合が必要」とたくさんの方が府職労に加入しています。新しい仲間のみなさんを紹介します。

## 府民の誰もが安心して共生できる大阪の実現をめざしたい

はじめまして。今年度より福祉職として採用され、砂川厚生福祉センターへ配属となりました。府民の方々の福祉を充実していくためにも、自身が少しでも働きやすい環境が重要であると考え府職労に加入しました。  
実際に約2ヶ月勤務してみて、職場にいる府職労の先輩方に大変親切にしてください、加入して良かったと考えています。これからも繋がりを大切に精一杯がんばりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。



砂川厚生福祉センター  
樋口 裕也さん  
(ケースワーカー)

## 少しでも早く住民に役立ちたい

平成27年度新規採用となり、保健師職として富田林保健所で勤務させていただいております。また余裕がなく頭の中が常にいっぱいなのですが、先輩方から一つ一つ丁寧に教えていただき、日々多くのことを学ばせていただいております。少しでも早く住民の皆様のお役に立つように頑張りますのでよろしくお願い致します。



富田林保健所  
河本 実花さん  
(保健師)

## 困った時に相談できるところが組合

就職したら組合に入るのは当たり前だと思ってきました。声をかけていたかったので加入しました。  
組合は困った時に相談できるところで、保険みたいなところがあると思っています。困ったのなら声をかけてください。色々なことを知らせてくれて、話しやすい組合なのだと思います。



急性期総合医療センター  
中谷 昌代さん  
(看護師)

## 出会えてよかったと思ってもらえる保健師に

臨時的任用職員として仕事させていただいています。よろしくお願ひいたしました。当保健所の先輩が、府民にとって何が一番かを考えて仕事をしていると言われていたのを聞き、そう考えながら業務を行っています。出会ってよかったと思ってもらえるような保健師になりたいと思います。



富田林保健所  
奥野 友里さん  
(保健師)

—訂正とお詫び—  
2018号(2015年5月1・20日発行)の2面の「わたしたち府職労に加入しました」の記事の中で、呼吸器アレルギー医療センターの高野恵理子さんの職種が「看護師」となっていました。正しくは「助産師」です。訂正とお詫び致します。

## 「大阪市廃止・分割住民投票」反対多数で否決！ 住民の声が届く民主的な府政、住民のために仕事のできる職場をつくろう

2015年5月19日  
大阪府関係職員労働組合執行委員会

5月17日、大阪市廃止・分割の是非を問う住民投票は、反対70万5585票(50.38%)、賛成69万4844票(49.62%)と、反対が賛成を上回り、大阪市廃止・分割は否決されました。

今回の住民投票は、反対多数となったものの、市民を二分し対立させ、短期間のうちに二者択一を迫るといった民主主義を否定する乱暴な手法で強行されました。その結果、多くの市民が「よく分からない」と戸惑い、対立させられることになりました。

この住民投票では、橋下市長と維新の会による異常なまでの物量作戦が展開され、「大阪市はなくなりません」など、たくさんのウソやデマも流されました。しかし、草の根の運動で真実を語り広げ、こうしたウソとデマの物量宣伝に勝利したことは、たいへん大きな意義を持つものです。

また、今回の住民投票では「民意の声」や「えらいこっちゃん会」「大阪市分割解体を考える市民の会」などの市民団体が次々とつくり、SNSの活用や手づくりピラを作成し宣伝するなど、たくさんの市民が行動に立ち上がりました。そして、自民・公明・民主・共産の政党間の共同をはじめ、商店会連盟や地域振興会、医師会など、意見や立場の違いをこえて一致する要求で力を

合わせる一点共闘が大きく広がりました。

一方で、日常的に社会や政治・行政に対する不満を感じている市民が、橋下市長の掲げる「都構想」に期待を寄せている現状も明らかになりました。

「どうやって働きやすく、住みやすい大阪をつくるのか」「元気な活気のある大阪にするのか」などの課題に対して、今回のたたかいで築き上げた共同の力と草の根の力を土台に、さまざまな考え方の違いはあっても、しっかり話し合い、みんなの一致点を大切にしながら、未来に明るい希望がもてる大阪府・市に転換していくことが重要です。

府職労は、7年半前に橋下知事が誕生して以降、維新政治の暴走を許さないたたかいに全力でとりくんできました。引き続き、地方自治と住民生活を守る運動の先頭に立つとともに、職員が住民の声に耳を傾け、職場で自由に意見を出し合い、話し合い、民主的な行政運営ができる府政の実現をめざします。

また、働くルールを破壊し、「戦争法案」づくり、憲法改悪に突き進む安倍政権の暴走を断じて許さないたたかいに全力で奮闘する決意です。

# たたかう若者たちとブラック企業の実態⑤

首都圏青年ユニオン委員長 神部 紅さん

僕は会社の燃料：「過労死が「貧困」を迫られる若者たち

いわゆる100円ショップ。現在は「ローン

ストア100」と名前を変えて営業している「SHOP99」という会社では、入社3年目で95パーセントの社員がつぶされた。燃え尽きる会社のエンジンに放り込まれ、燃えカスしか残らないような働き方を強いられていました」と裁判で証言しています。4日で80時間以上働いたこともある、1日に換算すると20時間以上です。時給に換算すれば最低賃金を下回ります。いま、若者は「過労死するほど働か」「貧困状態に陥るか」という究極の二択、「さあどっちにしますか？」と日々迫られるから動いているのです。

私はあちこちで講演する機会に恵まれています。よく質問の中で「ブラック企業に入らないためにどうしたらいいですか」「この企業がホワイト企業ですか」と聞かれることがあります。残念



ながらその質問にはあまり意味がありません。それは濃いか薄いかという濃度の問題、グラデーションだからです。例えば、そこがホワイト企業であったとしても、時々の経済状況や配属された部署、上司、同僚、部下などによって、働き方は変わってきます。程度の差はあれど、どこでも法律違反は起こりうるのです。大切なことは、人権無視や法律違反をはじめ、働くうえでのトラブルに巻き込まれたときに、そうした事態にどのように対応するのか、実践的な術を身につけることとがなにより必要だと話しています。

ブラックバイトの実態「ノルマ」と「拘束」で学生をつぶす

次に「ブラックバイト」の問題についてお話しします。海外では「チャリティーワーク」とも言われていますが、学生生活を経験するアルバイトのことを「ブラックバイト」と呼んでいます。

ある居酒屋では、生理のために休んだ大学3年生の女性に対し、職場の1人1人に「生理で休んでごめんね」と謝らせたといいケースもありました。彼女は「二度と休めないと思った」と言っています。「31アイス

クリーム」でアルバイトをしていた学生は、インフルエンザにかかり熱があったので「休みたい」と申し出たら、店長に「ぶさけるな、アイスを食べたら熱が下がるから出て来い」と言われたそうです。ノロウィルスにかかっても出勤を強要された飲食店のケースもあります。衛生上も大問題です。

類型ごとに事例を紹介。まずはアルバイトにノルマを課す「ノルマ型」です。コンビニエンスストアの「ローン」であった「おでん」を「〇時まで」に「食売れ」と店長が指示し、売れなかったら全部買い取らせるといふ事例です。相談に来た大学生は「しばらく晩飯は『おでん』でした」というわけ

です。コンビニでは、肉まん、クリスマスケーキ、ポッシュ、ニューボキ、年賀状、お中元、お歳暮、から揚げ、バレンタインデーのチョコレート、恵方巻などにノルマを課す。催事ごとのノルマや買い取り。こうした相談が増えています。次に「拘束型」。授業中に電話が入り「店が回らないから出て来い」と言われる、試験前でも休めない、学業に支障を来たし大学を中退せざるを得ない学生もいます。学校やゼミの行事、授業に出ることすら支障が出て、大学の先生たちも嘆

いています。ある居酒屋では、生理のために休んだ大学3年生の女性に対し、職場の1人1人に「生理で休んでごめんね」と謝らせたといいケースもありました。彼女は「二度と休めないと思った」と言っています。「31アイス

クリーム」でアルバイトをしていた学生は、インフルエンザにかかり熱があったので「休みたい」と申し出たら、店長に「ぶさけるな、アイスを食べたら熱が下がるから出て来い」と言われたそうです。ノロウィルスにかかっても出勤を強要された飲食店のケースもあります。衛生上も大問題です。

## 辞めたいのに辞めれない

次は「賃金泥棒型」です。「フレッシュネスバーガー」では、店長の持っている労務管理マニュアルにタイムカードの打刻のルールが書かれていて「制服に着替えてから打刻し、帰るときは打刻してから着替えるように」となっています。制服に着替えるのは、衛生面や企業のイメージなど業務上の必要で行っているもので、コスプレで着替えているわけではないのですから、当然、労働時間です。仕事のための準備時間も労働時間であるはずですが、こうした事例はアルバイトの中であちこちで見られます。また、試用期間中は時給が半分だったという相談もありました。もちろん最低賃金を割っています。

く延ばすといふこともやるわけです。次は「報復型」。学業や生活上のいろいろな事情で辞めたいと申し出ると「代わりに求人を出さないといけないので求人広告料を払ってから辞めろ」と言われたり、弁護士を通じて77万円の損害賠償請求をされたというケースもあります。辞めたいのにやめさせてもらえないわけです。

## 自らの問題で立ち上がる学生たち

こうしたさまざまな事例に対し、交渉すると「中小企業は割増賃金は免除される」「法律は理解しているがうちの会社は人とのつながりを大切にしている」「家族のようないきいきな関係で」といふ言い訳が、学生たちを苦しめています。また、過労死問題の第一の竹信三恵子さん(和光大学教授)が「女性は活躍できない、子育てもできない・残業ゼロで日本が食え、大阪弁護士会会長、自

民党の柳本卓司参議院議員、中山泰秀衆議院議員、民主党のおだち源幸参議院

## 在阪法律家8団体が開催

# 反対!! 「定額(低額)働かせホーダイ」5・21緊急集会

安倍政権は「企業が世界で一番活動しやすい国をめざす」として、労働者派遣法の大改悪、残業代ゼロ法案(労働基準法の改悪)を今国会で成立させようとしています。これを横断的な運動で阻止しようと在阪法律家8団体が「反対!!」定額(低額)働かせホーダイ5・21緊急集会」をエルシアター(エルお

おさかホール)で開催し、約300人が参加しました。在阪法律家8団体は、大阪社会文化法律センター、大阪労働者弁護団、大阪民主法律協会、自由法律協会、大阪支店、青年法律家協会大阪支部、日本労働弁護団大阪支部、民主法律協会、連合大阪法律曹団と非常に幅広い共同であり、集会では日本共産党の辰巳孝太郎参議院議員の連帯あいさつに加え、大阪弁護士会会長、自

## 「女性の活躍」どころか、過労死促進?

集会では、ジャーナリストの竹信三恵子さん(和光大学教授)が「女性は活躍できない、子育てもできない・残業ゼロで日本が食え、大阪弁護士会会長、自民党の柳本卓司参議院議員、中山泰秀衆議院議員、民主党のおだち源幸参議院

昨年的人事異動を経て、職場の労働安全衛生委員になりました。7月に初めて開催された第1回労働安全委員会に出席したとき、「法律では月1回の開催が義務化されているのに、昨年度は3回のみの開催である」ということを指摘しました。

## 「私の職場のローアン活動」④ 「安全衛生委員会」の発言で改善が進む

分会長 森本 眞次  
分会長 森本 眞次

点灯の改善など、身近なことを取り上げ少しずつ職場環境が改善されています。今後は「府職の友」の「ローアンのススメ」を読んで、他の職場のとりくみに学んで、残業問題などにも少しずつとりくんでいきたいと思

## ローアンのススメ

法の規定では、労働安全委員会が話し合った内容は、労働者に周知することになっていますが、十分にできていない現状があります。今後は議事録の概要をメールするな